

次代を担う子どもたちのためによりよい教育活動・授業を！→そのためには、より良い教育課程の編成が不可欠！



吉川市の教育グランドデザイン

・・・キーワードは

目的を明確にした
校内 校外行事

自己肯定感
自己効力感の高揚

保幼小の連携

授業改善
主体的・対話的で深い学び

わかる授業の実践
A L

心身の健康と体力の
向上に努める取り組み

命と人権を第一とし
豊かな人間性を育む

一人一人を大切に
より良い学級経営

I C T教育の推進
効果的な活用

各教科と総合の
横断的な学習

小中一貫教育9年間の学びを見据えた
カリキュラムマネジメント



令和4年度吉川市の教育ビジョン

吉川市教育大綱

が意味するもの…

いにしえからのまちを
自然を慈しむ

困難に立ち向かい あきらめず
自分を信じて 人と手を携えて

家族を 郷土を愛し 志を立て 凜として 生きてゆく

自分を大切に
人を大切にする

自分のため 人のため 誰かのために
役立つ人となることを 希求し続ける

やり抜く心 失敗しても
チャレンジし続ける



◇どんな子どもたちを育てたいのか

自分を 人を大切にし 郷土を慈しみ 自らがなりたい自分になるために 他者と協働し あきらめずに希求し 学び続ける人

◇身に付けさせたい力とそのために必要な教育活動・支援・意識

自ら課題を発見し あきらめずに追及する
やり抜く力

- 「知識伝達型」から「自己探求型」の主体的・対話的で深い学びへの転換
 - ・プログラミング的思考やデザイン思考の獲得
 - ・問題の本質を捉えて考え、解決する力の育成
- 資質・能力の育成を目指す授業改善
 - ・「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」のバランスの良い育成
 - ・小中学校の9年間を見通した学習過程の確立
- 全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの推進
 - ・ステップ1「すぐにでも、どの教科でも、誰でも活かせる一人1台端末」からステップ2「学びを深める。学びの本質に迫る。」段階への移行
 - ・学習目標の達成のための手段としてのICT活用
 - ・教職員、児童生徒の情報モラル・リテラシー教育の更なる推進
 - ・対話や議論を通じて自分の考えを根拠と共に伝える力の育成（目的に応じたプレゼンテーションの実施）

よりよい自分を目指す
自制心

- 自己肯定感と自己効力感を感じられる学びの推進
 - ・成功や失敗の積み重ねから学びとることができる教育活動の推進
 - ・「できる」「わかった」「もっと学びたい」と実感できる学習指導の充実
- 命と人権を守る教育の充実
 - ・命と人権を大切に、いじめを排除する心・態度の育成（あいさつ運動、いじめ撲滅集会等の実施）
- 豊かな心を育成する体験活動の推進
 - ・学校教育目標の具現化、小中一貫教育の推進に向けた体験活動の再構成
 - ・活動のねらいと目指す学校像を意識した学校行事の見直し
- 学びを支える学習規律の整理
 - ・中学校区で9年間を見通し、目的が共有された学習規律の確立

仲間と協働して 課題を解決する
協調性

- 教師と児童生徒との信頼関係及び児童生徒相互のよりよい人間関係を育てるための学級経営の充実
 - ・自己存在感が得られ、自己決定ができる場の確保
 - ・計画的・継続的な学級活動の実践
- 自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性の涵養
 - ・「特別の教科 道徳」の着実な実践
- 9か年の教科・領域横断的な学習を推進する教育課程の編成
 - ・生活科・総合的な学習の時間を中心とした探究的な新たな学びの工夫
 - ・中学校区での学びの系統性の確立
- 特別な配慮を必要とする児童・生徒への指導
 - ・様々な外部機関の助言や援助を活用
 - ・児童生徒一人一人を大切にされた個に応じた指導内容や指導方法の工夫